

## 目次

1 仕様	8-2	4 据付工事	8-6
2 外形寸法図	8-3	(1) 電気工事	8-6
3 配管工事	8-4	(2) 配管例	8-7
(1) 各配管の制約及び施工上の注意	8-4	(3) 据付制約	8-7
(2) 標準配管例	8-4	5 別売部品	8-8
(3) 混合給湯配管・高温給湯配管の流量調節方法	8-4		
(4) 複数接続時の給水配管、高温・混合給湯配管 の配管径について	8-5		

# 1 仕様

システム	形名		SRT-GE55N5	
	仕向地		一般地	
	定格電圧(周波数)		単相 200V( 50 / 60Hz共用 )	
	最大電流		19A	
	わき上げ温度		約65 ~ 約85	
	給湯温度	高温給湯側	約65 ~ 約85 ( わき上げ温度 )	
		混合給湯側	35 ~ 48 ( 1 刻み )、50、60	
	安全装置		電流動作形漏電遮断器、缶体保護弁	
給水器具認証書番号		W009-20020-057		
ヒートポンプユニット	形名		SRT-GEU72A5	
	設置場所		屋外専用	
	外形寸法(高さ×幅×奥行)		715mm × 809( +70 )mm × 300( +16 )mm 配管カパー寸法	
	質量		57kg	
	運転音(中間期 <sup>3</sup> /冬期 <sup>9</sup> ) <sup>12 13</sup>		44dB / 47dB	
	標準貯湯加熱	中間期加熱能力/消費電力/COP <sup>注1 2 3</sup>		7.2kW / 1.69kW / 4.3
		夏期加熱能力/消費電力/COP <sup>注1 2 4</sup>		6.0kW / 1.22kW / 4.9
		冬期加熱能力/消費電力/COP <sup>注1 1 2 5</sup>		7.2kW / 1.85kW / 3.9
		着霜期加熱能力/消費電力/COP <sup>注1 1 2 6</sup>		5.3kW / 2.20kW / 2.4
	高温貯湯加熱	中間期加熱能力/消費電力/COP <sup>注1 2 7</sup>		6.1kW / 1.95kW / 3.1
		夏期加熱能力/消費電力/COP <sup>注1 2 8</sup>		5.0kW / 1.45kW / 3.4
		冬期加熱能力/消費電力/COP <sup>注1 1 2 9</sup>		7.2kW / 2.40kW / 3.0
		着霜期加熱能力/消費電力/COP <sup>注1 1 2 10</sup>		6.0kW / 2.50kW / 2.4
	冷媒名 / 冷媒量		CO <sub>2</sub> ( R744 ) / 1.20kg	
設計圧力		高压:14MPa / 低压:8.5MPa		
貯湯タンクユニット	形名		SRT-GET55N5	
	タンク容量		0.55m <sup>3</sup> ( 550L )	
	設置場所		屋外専用	
	外形寸法(高さ×幅×奥行)		2100mm × 700mm × 825mm	
	質量(満水時)		80kg( 満水時 630kg )	
	通常使用圧力 / 水側最高使用圧力		170kPa( 減圧弁圧力 ) / 193kPa( 逃し弁圧力 )	
	制御用消費電力		3W	
	凍結防止ヒーター消費電力		48W	
	タンク保温性能 <sup>11</sup>		2 低下 / 10時間	
給湯配管接続可能数		高温給湯配管側:4台、混合給湯配管側:2台		

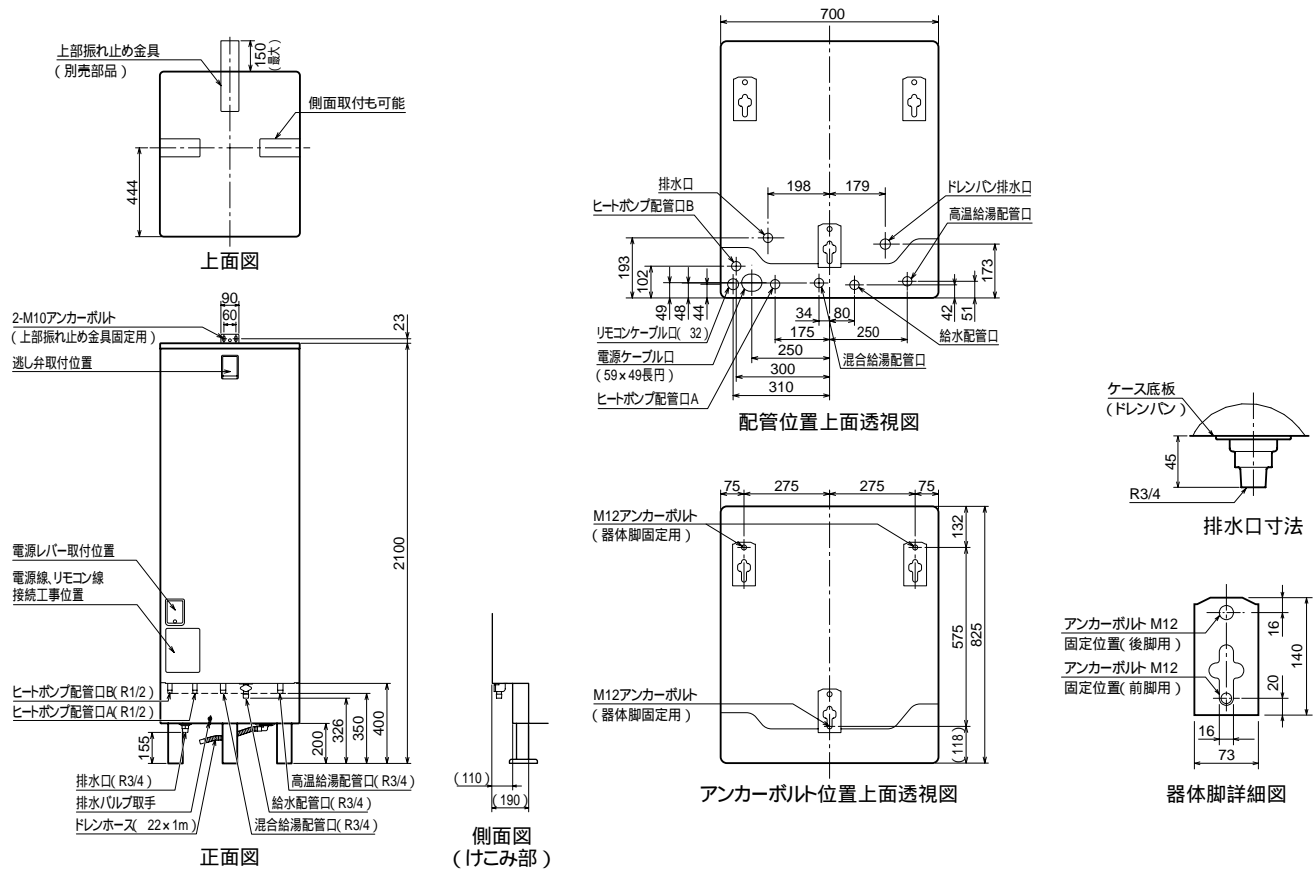
注1. JRA4060に基づき、消費電力1kWあたりの加熱能力を表したものです。標準貯湯加熱COP = 標準貯湯加熱能力 ÷ 標準貯湯加熱消費電力、COPは成績係数( Coefficient of performance )の略  
 注2. 電力契約については最寄りの電力会社へお問い合わせください。この給湯機は「通電制御型夜間蓄熱式機器」ではありません。

- 1 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。
- 2 わき上げ終了直前では、加熱能力が低下することがあります。
- 3 作動条件:外気温( 乾球温度/湿球温度 )16 /12、水温17、わき上げ温度65
- 4 作動条件:外気温( 乾球温度/湿球温度 )25 /21、水温24、わき上げ温度65
- 5 作動条件:外気温( 乾球温度/湿球温度 )7 /6、水温9、わき上げ温度65
- 6 作動条件:外気温( 乾球温度/湿球温度 )2 /1、水温5、わき上げ温度65
- 7 作動条件:外気温( 乾球温度/湿球温度 )16 /12、水温17、わき上げ温度85
- 8 作動条件:外気温( 乾球温度/湿球温度 )25 /21、水温24、わき上げ温度85
- 9 作動条件:外気温( 乾球温度/湿球温度 )7 /6、水温9、わき上げ温度85
- 10 作動条件:外気温( 乾球温度/湿球温度 )2 /1、水温5、わき上げ温度85
- 11 作動条件:貯湯タンクユニット周囲温度20、水温15、わき上げ温度65
- 12 運転音はJRA4060規格に準拠し、反響音の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。
- 13 複数台( 2 ~ 4台 )設置の場合、表示値より大きくなります。

## 2 外形寸法図

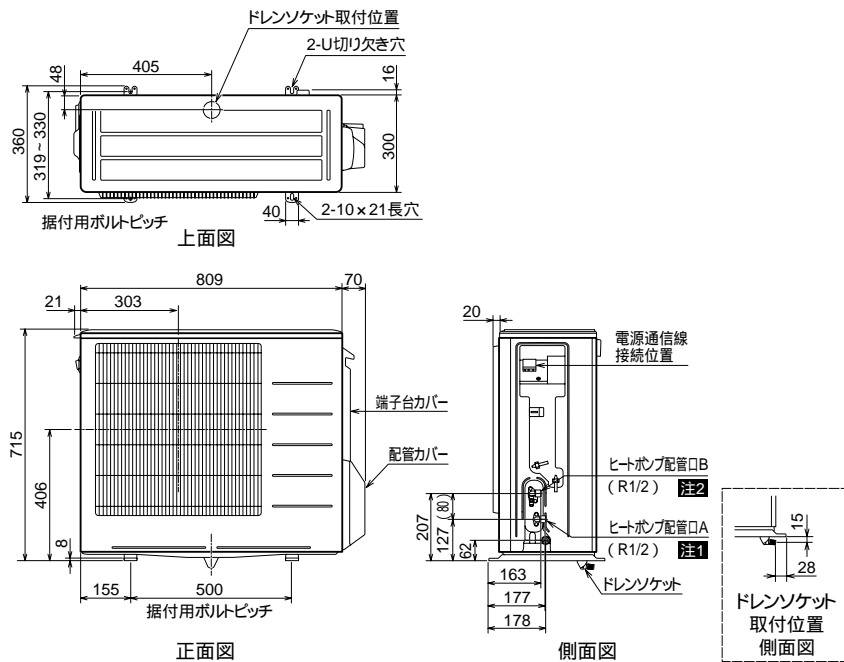
### 貯湯タンクユニット

#### SRT-GET55N5



### ヒートポンプユニット

#### SRT-GEU72A5



**注1** ヒートポンプユニットには「入水A」と表示

**注2** ヒートポンプユニットには「出湯B」と表示

自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯機  
(大容量連結タイプ)

### 3 配管工事

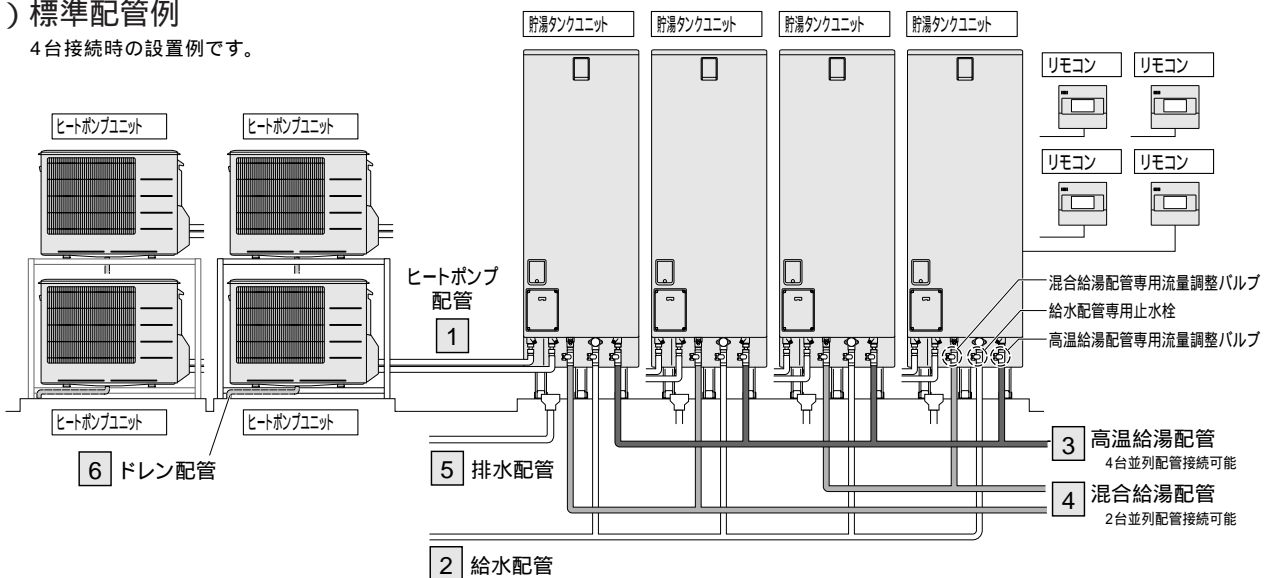
#### (1) 各配管の制約及び施工上の注意

配管名	耐熱温度	推奨配管種類	配管サイズ	継手呼び径 (R:テーパ・ねじ)		高低差	保温材厚さ
				製品	配管		
1 ヒートポンプ配管	95 以上	銅管、架橋ポリエチレン管	10A	R1/2	1/2x 10A	4 項(3) 参照	●配管長5m以下 10mm以上 ●配管長5～15m以下 20mm以上
2 給水配管	特になし	銅管、架橋ポリエチレン管	20A <sup>注</sup>	R3/4	3/4x 20A	4 項(2) 参照	10mm以上推奨
3 高温給湯配管	90 以上	銅管、架橋ポリエチレン管 HT管	20A <sup>注</sup>	R3/4	3/4x 20A	4 項(2) 参照	10mm以上推奨
4 混合給湯配管	90 以上	銅管、架橋ポリエチレン管 HT管	20A <sup>注</sup>	R3/4	3/4x 20A	4 項(2) 参照	10mm以上推奨
5 排水配管	90 以上	HT管	50以上	R3/4	—	下り勾配	—
6 ドレン配管	特になし	ドレンホース	16	—	—	下り勾配	—

注:配管サイズ20Aは、貯湯タンクユニット各配管取出口のサイズです。

#### (2) 標準配管例

4台接続時の設置例です。



#### (3) 混合給湯配管・高温給湯配管の流量調節方法

使い始めは、必ず、各貯湯タンクユニットからの流量が均等になるように、下記の手順で、混合給湯配管・高温給湯配管の流量を調節してください。また、混合給湯配管または高温給湯配管変更時等、配管流量調節後に混合または高温流量調整バルブを開閉させた場合も、再度、流量調節をしてください。

図1

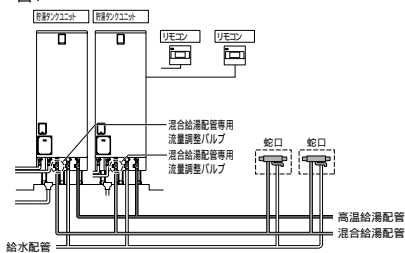
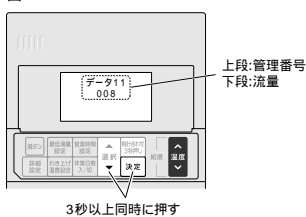


図2



3秒以上同時に押す

管理番号(上段)	名称	データ範囲(下段)	単位
11	混合給湯用流量センサ瞬時流量	000～035	L/分
12	高温給湯用流量センサ瞬時流量	000～035	L/分

##### 混合給湯配管

1. 各貯湯タンクユニットの混合給湯配管専用流量調整バルブが全開になっていることを確認する 図1
2. 使用頻度の高いパターンで蛇口を開く (例: 厨房蛇口3カ所使用)
3. 各リモコンの「選択 スイッチ」と「決定スイッチ」を3秒以上同時に押す 図2
4. 選択スイッチで「管理番号:11」を選ぶ  
[▲]...1つ進む [▼]...1つ戻る
5. リモコン と の表示値を確認し、流量表示が大きい値の混合給湯配管専用流量調整バルブを絞る  
例えば、リモコン が大きい値の場合は、混合給湯配管専用流量調整バルブ を絞って調節してください。
6. リモコン画面を確認し、同じ流量になるまで、混合給湯配管専用流量調整バルブの調節を行う

注1 通常表示に戻すときは、各リモコンの「選択 スイッチ」と「決定スイッチ」を3秒以上同時に押してください。  
注2 リモコンの画面は5分間で自動的に終了しますので、その際は再度、「選択 スイッチ」と「決定スイッチ」を3秒以上同時に押してください。

##### 高温給湯配管

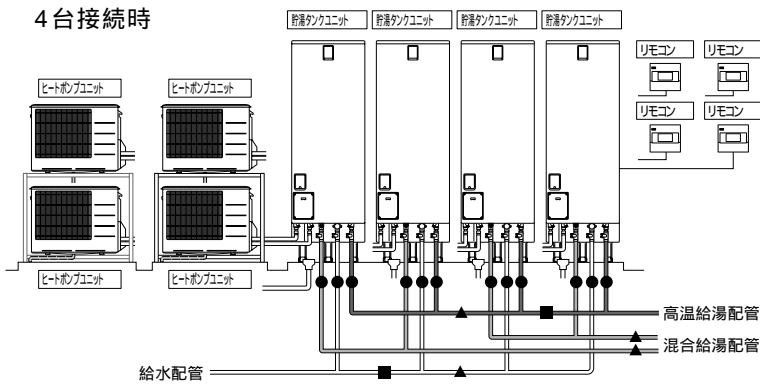
上記、混合給湯配管の調節手順と同様に行なってください。

1. 各貯湯タンクユニットの高温給湯配管専用流量調整バルブが全開になっていることを確認する
2. 使用頻度の高いパターンで蛇口を開く (例: 食器洗浄機、茹沸機共に稼働)
3. 各リモコンの「選択 スイッチ」と「決定スイッチ」を3秒以上同時に押す
4. 選択スイッチで「管理番号:12」を選ぶ  
[▲]...1つ進む [▼]...1つ戻る
5. リモコン と の表示値を確認し、流量表示が大きい値の高温給湯配管専用流量調整バルブを絞る
6. リモコン画面を確認し、同じ流量になるまで、高温給湯配管専用流量調整バルブの調節を行う

## (4) 複数接続時の給水配管、高温・混合給湯配管の配管径について

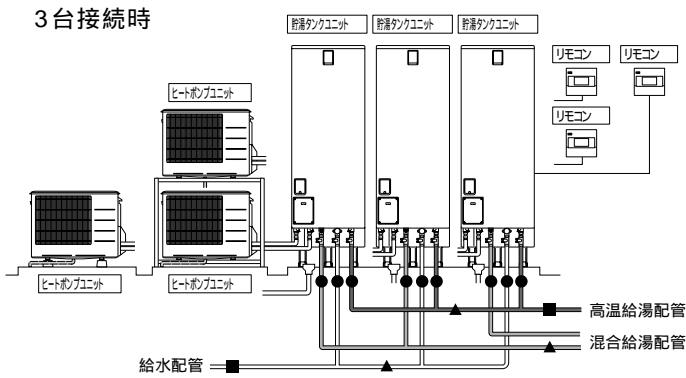
使用する配管材質によって、配管径は異なります。

4台接続時



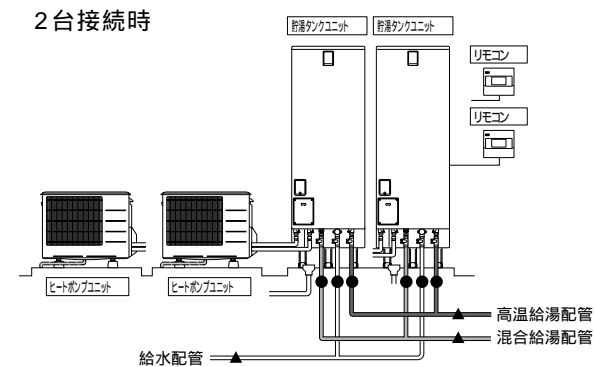
部位	銅管	HT管
	20A	20A
	25A	32A
	32A	32A
	32A	40A

3台接続時



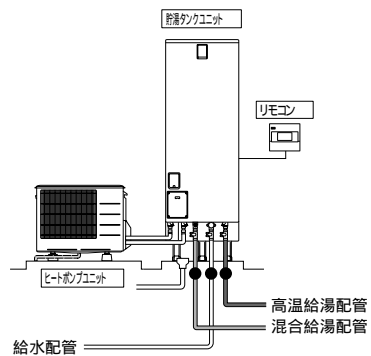
部位	銅管	HT管
	20A	20A
	25A	32A
	32A	32A

2台接続時



部位	銅管	HT管
	20A	20A
	25A	32A

1台



部位	銅管	HT管
	20A	20A

## 4 据付工事

### (1) 電気工事

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」及び「内線規程」にしたがって第二種電気工事士が施工し、必ず、専用回路を使用してください。

ブレーカーの定格及び電線の太さは内線規程に定められたものを使用してください。

電力契約制度については最寄りの電力会社へお問い合わせください。

必ずタンクを満水にしたことを確認してから電源を入れてください。

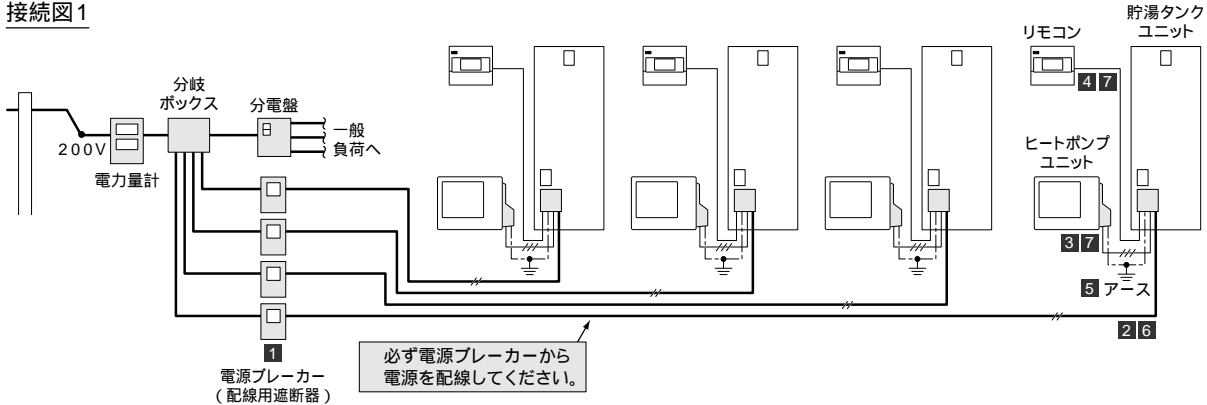
万一の感電事故防止のため、「電気設備に関する技術基準」及び「内線規程」にしたがって第二種電気工事士がD種接地工事を行なってください。

工場・ビル等への設置で、一定要件を満たす場合は第一種電気工事士

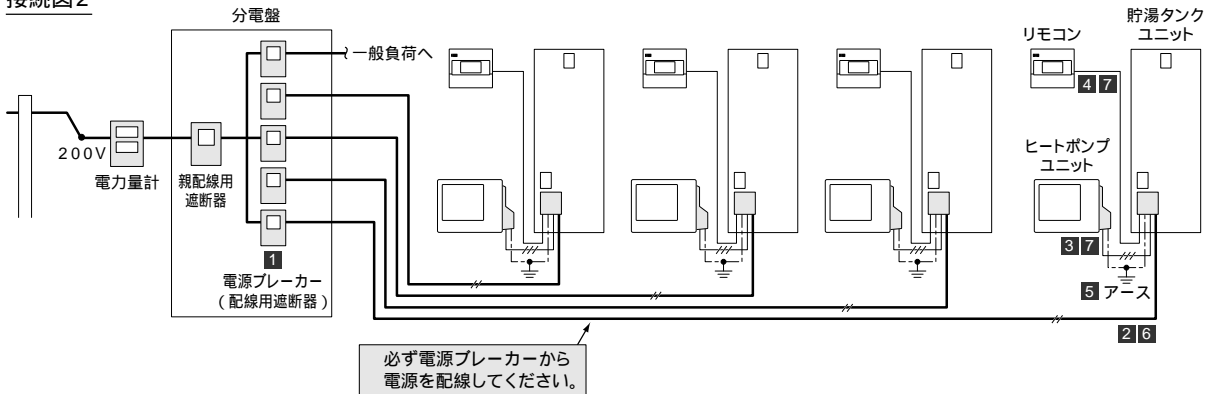
**電気系統接続概要図** 図中の番号( **1** ~ **7** )は必要部材の番号を表しています。

- 電気給湯機用電源ブレーカー組込みの分電盤の場合は、分電盤より直接配線してください。(接続図2)

接続図1



接続図2



**必要部材** 表中の番号( **1** ~ **7** )は上図に対応しています。

番号	名称	仕様	備考
<b>1</b>	電源ブレーカー(配線用遮断器)	単相200V、20A	
<b>2</b>	電源線	2芯式、3.5mm <sup>2</sup> (2.0)、VV線	●電源～貯湯タンクユニット
<b>3</b>	電源通信線	3芯式(単線)、2.0、VVf線	●貯湯タンクユニット～ヒートポンプユニット/最長30m以内
<b>4</b>	リモコン線	2芯式、0.3mm <sup>2</sup> (当社別売部品使用時)	●リモコン全回路/最長50m以内
<b>5</b>	アース線	1.6、IV線	
<b>6</b>	PF管(電源線用)	22	●電源～貯湯タンクユニット
<b>7</b>	PF管(電源通信線用、リモコン線用)	16	●貯湯タンクユニット～ヒートポンプユニット ●貯湯タンクユニット～各リモコン

【お願い】●**3** 電源通信線は、必ず、単線を使用してください。

●**4** リモコン線は、当社別売部品(形名:LM-620またはLM-650)を使用してください。

市販品を使用する場合は、相当品(2芯式、0.3～1.65mm<sup>2</sup>、67.6 /km以下)としてください。

## (2) 配管例

### 階上(2、3階)給湯

2階への給湯は可能です。

混合給湯は手洗い程度であれば3階へ給湯できます。シャワー、洗髪洗面化粧台は使用できません。

高温給湯は3階へ給湯できますが、流量低下のおそれがあります。

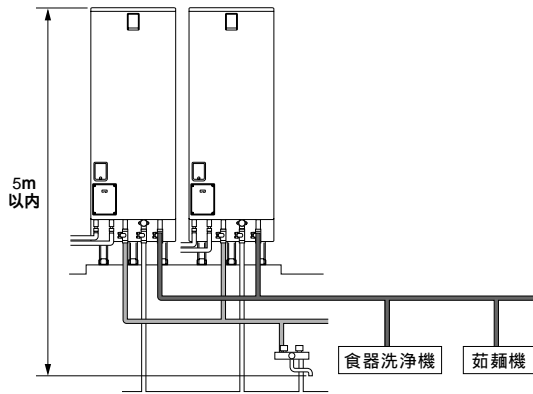
1システム(1台)で使用する場合でも、貯湯タンクユニット設置階の上の階へ給湯するときは、貯湯タンクユニット設置階の高温給湯配管、混合給湯配管に市販の流量調整バルブ(流量が調整しにくい場合は流量絞り弁)を取り付け、階高さによる流量バランスを調整してください。下の階で給湯しているときは、上の階での出湯が弱くなります。

### 階下給湯

高温給湯・混合給湯とも階下5mまで可能です。

給湯栓出口と貯湯タンクユニット天面の高低差は5m以内にしてください。5mをこえると空気の混ざったお湯が出て、飛び散ることがあり危険です。

空気の混ざったお湯が出る場合は、貯湯タンクユニットへの給水量が不足しています。流量調節バルブ(市販品)で、給水と給湯する量のバランスがよくなるよう調節してください。



## (3) 据付制約

### ヒートポンプユニット

- 3方向に障害物がある場合は設置できません。
- 上方向は開放(1m以上確保)の条件です。 下記(2)複数台設置の場合において、2台設置及び4台設置の1段目(架台下)は本条件適用外です。
- ヒートポンプユニットの配管取出側には300mm以上必要です。配管取出逆側は150mm以上必要です。  
壁に向けて吹き出すと、壁が汚れる場合があります。  
風通しが悪く、吹き出した風を再び吸い込む場合は、加熱能力が10%程度悪化する場合があります。  
風向ガイド(当社別売部品)を取り付けると、加熱能力の改善が図れる場合があります。

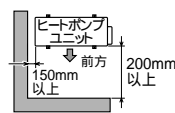
#### (1) 1台設置の場合

- 前方(吹出側)の障害物が風通しの良いもの(例:金網)の場合は、「前方(吹出側)に障害物がない場合」の制約で設置できます。風通しの悪いもの(例:建物の外壁)の場合は、「前方(吹出側)に障害物がある場合」の制約で設置してください。

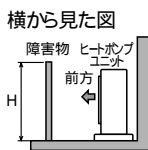
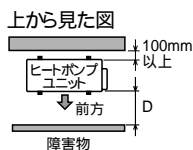
前方(吹出側)に障害物がない場合(上から見た図)



後方(吸込側)に障害物がない場合(上から見た図)



前方(吹出側)に障害物がある場合



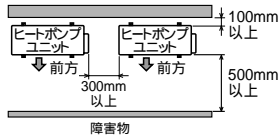
所要スペース(D)は、障害物の高さ(H)によって変わります。

障害物の高さ(H)	所要スペース(D)
1200mm以下	200mm以上
1200mm超	300mm以上

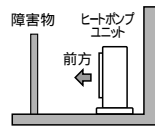
(2)複数台設置の場合

2台設置(横置きの場合)

上から見た図

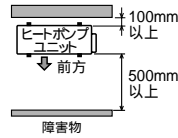


横から見た図

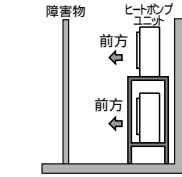


2台設置(2段積みの場合)

上から見た図

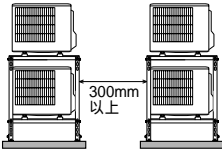


横から見た図

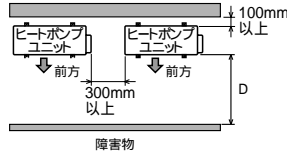


4台設置(2列2段積みの場合)

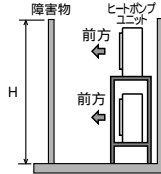
正面から見た図



上から見た図



横から見た図



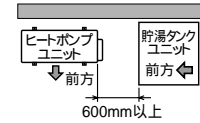
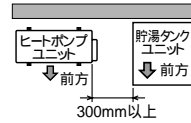
所要スペース(D)は、障害物の高さ(H)によって変わります。

障害物の高さ(H)	所要スペース(D)
1200mm以下	600mm以上
1200mm超	800mm以上

メンテナンススペース(上から見た図)

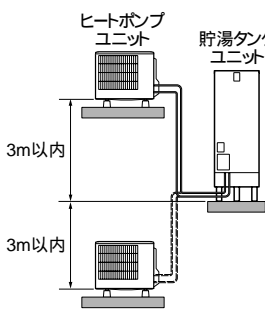
- 貯湯タンクユニットの前方には600mm以上が必要です。
- ヒートポンプユニットの配管取出側には300mm以上が必要です。

標準配置



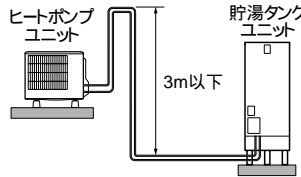
ヒートポンプユニットと貯湯タンクユニット間

ユニット間の高低差の制約



- 高低差: ±3m以内

配管の制約



- 配管全長 : 15m以下
- 曲がり箇所 : 5カ所以下
- 鳥居高低差 : 3m以下、1カ所まで

ヒートポンプ配管の長さ温度低下について

- タンク内湯温はヒートポンプ配管からの放熱により、わき上げ温度より低くなります。配管が長くなるほど、放熱は大きくなりますので、なるべく配管は短くすることをおすすめします。
- 耐熱保温材20mm、外気温度マイナス7、15mの配管の場合、配管での放熱ロスによる温度低下は約5です。外気温度、湿度等の条件、各部の放熱ロスを含めると、タンク内湯温は、わき上げ温度より約10 低下することがあります。

5 別売部品

商品名	形名	希望小売価格		取扱区分
		税込価格	税抜価格	
1 リモコン	RMC-GEN5	15,750円	15,000円	
2 リモコンケーブル(20m)	LM-620	5,250円	5,000円	
3 リモコンケーブル(50m)	LM-650	10,500円	10,000円	
4 アース棒	GT-30D	2,100円	2,000円	
5 脚部カバー	GT-K550	18,900円	18,000円	
6 アンカーボルト(脚部固定用・30本入)	GZ-B1D	21,000円	20,000円	
7 アンカーボルト(上部固定用・50本入)	GZ-B2D	15,750円	15,000円	
8 脚固定金具(1セット2個入)	GZ-6D	2,625円	2,500円	
9 上部振れ止め金具	GZ-TS1	4,200円	4,000円	
10 風向ガイド	GT-135	12,600円	12,000円	
11 ファン保護ルーフ	GT-134	4,200円	4,000円	
12 防雪カバー	GT-127	36,750円	35,000円	
13 防雪架台(高置台)単体使用可能	GT-124-A	47,250円	45,000円	
14 防雪架台(防雪屋根)GT-124-Aが必要	GT-124-B	31,500円	30,000円	
15 防雪架台(防雪板後・左)GT-124-A、Bとも必要	GT-124-C	26,250円	25,000円	

マークの見方

= 取付必須部品

= 取付必須部品(いずれか選択して使用)

= 必要に応じて使用する部品